

体系No.	通しNo.	事業名	担当課	現在	目標(令和3年度)	進捗状況	R03年度実績内容 (実施していない場合はその理由、また今後の方向性について)
1-1	1	「ハローコーナーニュース」の充実	市民協働推進課	ハローコーナーに寄せられた質問や生活情報を、HPへの掲載や公共施設での配布などで発信しています。	外国人市民の要望を取り入れ、内容の充実を図ります。	実施しています。	窓口寄せられる相談内容から外国人のニーズを考慮するとともに、外国人市民に有益な情報、知っておいてもらいたいことや、生活に密着した情報を積極的に掲載し、5言語で発行しています。また、Webサイトに詳細が掲載されている情報については二次元バーコードも載せ、情報へのアクセスが容易になるようにしています。
1-1	2	外国人市民にも分かりやすい広報誌などの作成	広報広聴課 市民協働推進課	外国人市民向けの広報記事にルビを付けています。	分かりやすい日本語に留意し、図や絵を有効に活用します。	実施しています。	『広報あげお』の中で、「ハイライツ」など外国人向けに4か国語(英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語)で記事を掲載しています。(広報広聴課) 近年ベトナム出身者が急増していることを踏まえ、すでに多言語化されているものベトナム語訳を進めています。令和3年度は、ハローコーナーのチラシやカレンダーのベトナム語訳を作成しました。(市民協働推進課)
1-1	3	「ウェルカムフォルダー」の配布	市民協働推進課	転入した外国人市民に「ウェルカムフォルダー」を配布しています。	「ウェルカムフォルダー」の中身を精査し、随時更新して内容の充実を図ります。	実施しています。	制度や組織編成に応じて随時中身を更新しています。また、令和3年度よりウェルカムフォルダーの封筒に貼り付けるラベルを更新し、中身の重要性を強調することで手元に保管してもらえるよう促しました。
1-1	4	HPによる情報提供の充実	広報広聴課	2011(平成23)年度から、HPに自動翻訳機能を導入しています。	HPの情報を充実させ、外国人市民に、より分かりやすい情報を提供します。	実施しています。	上尾市Webサイト(HP)に自動翻訳機能を導入し、HPの内容を3カ国(英・中国・韓国)語に翻訳できるようになっています。また、一部の内容については、スペイン・ポルトガル語にも対応しているほか、多言語ページに情報をまとめ、リンクや検索のヒントなどの機能を強化しています。
1-1	5	暮らしに関する図書資料の充実	図書館	【新規】	外国人市民の暮らしに関する図書資料を充実させ、利用しやすいスペースを作ります。	実施しています。	令和4年3月に、本館2階に「多文化コーナー」の棚を設置し、外国人市民向けの本や多文化について学ぶ本を配架しました。 外国語利用案内については、電子書籍の項目を追加した他、軽微な修正を行いました。
1-1	6	ICTを活用した生活情報の提供	広報広聴課	メールマガジンの配信やツイッターの導入などにより、生活情報を提供しています。	ラジオ、テレビなどの各種メディアや音声コードなど最新のICTを活用した生活情報の提供を検討します。	実施しています。	市民、外国人市民に向けて、なるべく分かりやすい表現を使用してラインやツイッター、フェイスブック、メールマガジンなど様々な分野で情報の発信を実施しています。
1-1	H28追加	外国人市民向けの情報伝達の精度向上	市民税課	【新規】	市役所からの重要なお知らせが外国人市民に行き届くよう工夫します。	実施しています。	市民税・県民税及び軽自動車税納税通知書用封筒に、重要書類であることを示す「重要/Important」を印字しています。
1-2	7	外国人市民向け相談窓口の拡充	市民協働推進課	毎週月曜日に4カ国(英・中国・スペイン・ポルトガル)語での相談をハローコーナーで実施しています。【ハローコーナー相談件数/年302件】	ハローコーナーとともに外国人総合相談センター埼玉をPRし、積極的に活用します。【ハローコーナー相談件数/年400件】	実施しています。	平日は仕事などで相談に来られない方に対応するために、月に1度、第4土曜日に開設しています。ハローコーナーがない日には外国人総合相談センター埼玉を活用しています。 R3年8月より聖学院大学の協力のもと、土曜開設日にベトナム語の通訳を開始しました。【ハローコーナー相談件数/265件】
1-2	8	ボランティアによる通訳サービスの提供	市民協働推進課	【新規】	ボランティアを活用し、行政手続や、学校、保健センター、保育所などでの相談・通訳サービスの提供を検討します。	実施しています。	令和元年6月1日から市民による通訳翻訳ボランティア制度の運用を開始しました。令和3年度の通訳派遣実績は2件、3名、翻訳ボランティアは1件でした。派遣先はAGA主催の講座と学校でした。翻訳は、市民税課依頼の市民宛の文書を英訳しました。
1-2	9	外国人市民に対応できる職員の育成	職員課	外国語で対応できる職員を把握し活用しています。また通信教育や自主研修を支援しています。	外国語対応における庁内での協力・連携体制を拡充するとともに、外国人市民に対応できる職員を育成します。	実施しています。	平成26年度から、市役所窓口や市内公共施設等における外国人市民へのサービスを向上させるため、上尾市外国人市民サポート事業を実施しています。 令和3年度は、5名の職員から英語又は中国語による登録があり、協力体制を整備しています。
1-2	10	「コミュニケーション支援ボード」の活用	行政経営課	2011(平成23)年6月からISO認証課で「コミュニケーション支援ボード」を試用で導入しています。【窓口設置数/9課】	本庁舎の窓口全てに「コミュニケーション支援ボード」を設置し、各課窓口で改良していきます。【窓口設置数/46課】	実施しています。	本庁舎の窓口全てにコミュニケーション支援ボードを設置し、活用しています。また、ボードのデータをグループウェアに登録し、各課での改良及び出先機関での活用を推進しています。 例:救急車には専用の指さしイラストツールや指さし対話集を搭載し、隊員による活用訓練を実施しています。

体系 No.	通し No.	事業名	担当課	現在	目標(令和3年度)	進捗状況	R03年度実績内容 (実施していない場合はその理由、また今後の方向性について)
1-2	11	各課につながる市役所総合案内の提供	総務課	市役所総合案内では、全ての来庁者に適切な担当課を案内しています。	「コミュニケーション支援ボード」を“総合案内用”として作成し、窓口各課との連携を深めます。	実施しています。	多言語電話同時通訳を活用したご案内を実施し、各課窓口とも連携を図っております。なお、「コミュニケーション支援ボード」については、各課窓口に配置しておりますが、現在は多言語電話同時通訳を活用するケースが多く、使用する機会は少ないようです。
1-3	12	日本語教室のPR	市民協働推進課 AGA*	外国人市民の転入時の他、広報誌やイベントで日本語教室をPRしています。	職場や地域、HPなどで、外国人市民の目に触れやすく親しみやすい効果的なPR方法を探り、実施します。	実施しています。	広報あげお、ハローコーナーニュース、ウェルカムホルダー、市Webサイトで日本語教室をPRしています。
1-3	13	日本語教室の充実	市民協働推進課 生涯学習課 AGA	AGA主催により日本語教室を開催しています。また大谷・原市公民館でも開催しています。【AGA日本語教室参加者／延べ1,274人】	受講者の意見を積極的に取り入れ、日本語学習環境の整備に努めます。また日本語教室主催団体と連携を深めます。【AGA日本語教室参加者／延べ1,400人】	実施しています。	原市公民館で、日本語を学びたい外国籍市民に対し、ボランティアサークルによる日本語教室を開催しました。【原市日本語教室参加者 のべ105人】(生涯学習課)
1-3	14	日本語講師ボランティアへの支援	市民協働推進課 AGA	日本語講師となるボランティアの養成・募集を支援しています。	日本語講師ボランティアへの支援を強化し、資質の向上に努めます。	実施しています。	令和3年度は日本語教室や子ども教室で活動するボランティア向けのスキルアップ研修会を2回、養成講座を1会開催しました。合計84名が参加しました。
1-3	15	「取り出し指導」の充実	学務課	日本語による学習が困難な外国人児童・生徒に対して、取り出し指導を実施しています。	児童・生徒の個性を生かした効果的な指導方法を研究し、全ての対象者に指導員を派遣します。	実施しています。	申請児童・生徒数37人のところ、37人に配置しました。【日本語指導員数17名】
2-1	16	入居に伴う説明の充実	市民協働推進課	【新規】	生活ルールなどを外国人市民に理解してもらうため、入居説明シートの配布や「県外国人住まいサポート店」の活用を促進します。	実施しています。	「埼玉県外国人の生活ガイド」を参考に、日本の住居について5言語(英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語)でまとめたものをウェルカムフォルダーに掲載し、転入する外国人市民に配布しています。また、市HPにも掲載しています。
2-1	17	ゴミ出しマニュアルの充実	西貝塚環境センター	外国人市民の転入時に、4か国(英・中国・スペイン・ポルトガル)語に対応したゴミ出しマニュアルを配布しています。	イラストを多く盛り込むなど、内容の充実を図り、外国人市民にも分かりやすいマニュアルを目指します。	実施しています。	リサイクル制度の変更に伴い随時改訂しています。今後日本語のマニュアルの改訂版を作成するにあたって、関係各課と連携の上、外国人市民にも分かりやすいごみ出しマニュアルを公開しています。4か国の他、近年増加しているベトナム人市民がより理解できるよう、収集カレンダーにベトナム語の表記し、ごみ出しマニュアルのベトナム語版を追加しました。 スマートフォンやタブレットで利用可能なごみ分別アプリ「さんあーる®」を導入し、R3.3に英語・中国語(簡体)・ベトナム語に対応しました。
2-1	18	リサイクル事業の推進	西貝塚環境センター	【新規】	関係各課やAGAと連携して、外国人市民に対しても、リサイクル施設の見学や環境美化啓発活動への参加を呼びかけます。	実施しています。	関係各課と連携して、外国人市民に対して西貝塚環境センター施設見学を呼びかけるとともに、ごみの分別・減量をわかりやすく説明しています。 環境美化推進員の皆さんから地域の方々へ、リサイクルの推進および、環境美化活動への参加を呼びかけています。
2-1	19	防災マップの充実	危機管理防災課	外国人市民の転入時に、日本語と英語を併記した防災マップを配布しています。	イラストを多く盛り込み、緊急時の避難先や携行品などを外国人市民にも分かりやすいように工夫します。	実施しています。	令和3年度に防災ガイドブック及び水害ハザードマップを作成し、両冊子とも多言語対応のアプリ「Catalog Pocket」での配信を行っている。 また、転入時に外国人市民に多言語配信を周知するためのチラシも作成し、市ホームページに掲載するとともに、市民協働推進課協力のもと窓口で配布している。
2-1	20	防災意識の啓発	危機管理防災課 AGA 自治会(自主防災組織)	【新規】	外国人市民向けイベントでの防災チラシの配布や、メールマガジンの配信により、防災意識を高めます。	実施できていません。	コロナ禍によりイベントが中止になったため、実施しておりません。 【参考】 例年、あげおワールドフェアに上尾市防災士協議会として出展し、イツモ防災啓発及び外国人向け啓発パンフレットを配布。

体系No.	通しNo.	事業名	担当課	現在	目標(令和3年度)	進捗状況	R03年度実績内容 (実施していない場合はその理由、また今後の方向性について)
2-1	H29追加	避難所における多言語による情報提供	危機管理防災課	【新規】	外国人が避難所に避難してきたことを想定し、多言語に対応した情報提供を行います。	実施しています。	平成30年3月に、42箇所ある指定避難所の防災倉庫に、コミュニケーションボード(広島市作成)と多言語表示シート(一般財団法人自治体国際化協会作成)を備蓄しました。コミュニケーションボードは4言語(日本語、英語、中国語、韓国語)、多言語表示シートは5言語(日本語、やさしい日本語、英語、中国語、スペイン語)に対応しています。
2-1	21	防犯・交通安全活動の啓発推進	交通防犯課 AGA 上尾警察署	上尾警察署と連携した地域防犯・交通安全活動に取り組んでいます。【活動回数/年2回】	上尾警察署との連携を強化し、外国人市民向けイベントなどを活用し、積極的な防犯活動を展開します。【活動回数/年3回】	実施できていません。	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントの実施は見送りとなった。
2-2	22	「あげお暮らしのガイド」の多言語化	市民協働推進課	「あげお暮らしのガイド」を4カ国(英・中国・スペイン・ポルトガル)語でHPに掲載し、転入時に配布しています。	外国人市民の意見を参考にして、生活に必要な情報を取り上げ、内容を随時更新します。	実施しています。	「あげお暮らしのガイド」の内容を随時更新しています。令和2年度よりベトナム語の暮らしのガイドの発行を始めました。
2-2	23	「指さし受診シート」の作成	健康増進課	【新規】	「指さし受診シート」を作成し、医療機関での意思疎通をより円滑にします。	実施しています。	外国版母子健康手帳に、指さし受診対話集が掲載されており、情報提供しています。
2-2	24	多言語による保健関係文書の提供	健康増進課	要望に応じて、母子手帳や予防接種予診票の外国語版を提供しています。	乳幼児健診の通知や各種問診票など、外国人市民に必要な保健関連文書の多言語化を進めます。	実施しています。	こんにちは赤ちゃん事業についての案内文書、子育て支援拠点や交流の場のチラシ、予防接種予診票及び説明資料「予防接種と子どもの健康」について外国語版を提供しています。
2-2	25	子育てについての交流・相談の場の充実	子ども支援課 子ども家庭総合支援センター(R02年度追加) AGA	【新規】	外国人市民の保護者が安心して子育てできるようにチラシを作成するほか、外国にルーツを持つ家族を積極的に取り込む交流の場を設けます。	実施しています。	地域子育て支援拠点や子育てサロンでは、交流の場の提供や子育てに関する相談を行っており、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供しています。(子ども支援課)
2-2	26	健康づくりの啓発	健康増進課	【新規】	市内医療機関と連携し、やさしい日本語で健康づくりを促進するチラシを配ります。	実施できていません。	要望がないため対応をしていますが、要望があった場合は対応を検討していきます。
2-2	27	ボランティアによる通訳サービスの提供【再掲】	市民協働推進課	【新規】	ボランティアを活用し、行政手続や、学校、保健センター、保育所などでの相談・通訳サービスの提供を検討します。		体系No.1-2 通しNo.8の再掲
2-2	28	国民健康保険・国民年金の個別対応の充実	保険年金課	外国人市民の転入時に、国民健康保険や国民年金の制度について個別に対応しています。	チラシや窓口対応マニュアルの作成により、外国人市民がより理解しやすいよう個別対応を充実させます。	実施しています。	国民年金は国で作成した外国人向けのパンフレットや、電話通訳サービスを活用しています。国民健康保険はハローコーナー、電話通訳サービスを活用するほか、外国人市民が制度を理解しやすいように、国民健康保険の日本語・英語版パンフレットを作成しました。
2-2	29	外国人市民のための勉強会の開催	市民協働推進課 AGA	日本の税金・年金制度を扱った講座や就職支援講座を開催しています。【勉強会/年2回、参加者13人】	より多くの外国人市民が参加できるように、受講者の意見を取り入れ、積極的に社会参加を促します。【勉強会/年5回、参加者50人】	実施しています。	令和3年7月29日に日本の幼稚園・保育園についての勉強会を文化センターで開催しました。【年1回/参加者14名(保護者8名、子ども6名)】

体系 No.	通し No.	事業名	担当課	現在	目標(令和3年度)	進捗状況	R03年度実績内容 (実施していない場合はその理由、また今後の方向性について)
2-2	H29追加	救急、消防通報の対応力の向上	消防本部(指令課)	【新規】平成31年度中に三者同時通訳システムの導入しています。	外国語対応ソフトではなく、三者同時通訳システムの導入を検討します。	実施しています。	令和3年度に21ヶ国語に対応し、119入電時に1件実施。
2-2	追加	多言語による救急活動	消防本部(警防課)	【新規】	外国人に対して、ボイストラのより効果的な使用方法を研究します。	実施しています。	R03年度中、救急ボイストラを9件(英語3件、ベトナム語3件、中国語1件、ペルー語1件、ネパール語1件)使用し、救急搬送を円滑に実施しました。
2-3	30	「取り出し指導」の充実【再掲】	学務課	日本語による学習が困難な外国人児童・生徒に対して、取り出し指導を実施しています。	児童・生徒の個性を生かした効果的な指導方法を研究し、全ての対象者に指導員を派遣します。		体系No1-3遠しNo15の再掲
2-3	31	「取り出し指導」指導員講習会の開催	学務課	【新規】	年2回研修会を実施し、指導の現状や課題、方法などの情報を共有し、指導を充実させます。	実施しています。	指導員へのアンケートなど、効果的な周知とフィードバック方法を引き続き検討していきます。(学務課)
2-3	32	外国人市民向け相談窓口の拡充【再掲】	市民協働推進課	毎週月曜日に4カ国(英・中国・スペイン・ポルトガル)語での相談をハローコーナーで実施しています。【ハローコーナー相談件数/年302件】	ハローコーナーとともに外国人総合相談センター埼玉をPRし、積極的に活用します。【ハローコーナー相談件数/年400件】		体系No.1-2 通しNo.7 の再掲
2-3	33	「高校進学ガイダンス事業」の紹介	指導課	県・県国際交流協会・県産業文化センター共催の外国人住民向け高校進学ガイダンス事業を紹介しています。	取り組みを継続するとともに、積極的な情報の収集と発信を行います。	実施しています。	高校進学の指導は、基本的に各中学校にて個別に対応していますが、外部ガイダンスも併せて紹介することで指導の質を高めます。生徒には個別に情報レター「Moshi Moshi」を県から学校を通じて送付し、周知しています。
2-3	34	乳幼児や放課後児童の育成支援	青少年課	保育所や学童保育所では、やさしい日本語やローマ字の使用で対応しています。必要に応じて、通訳者も依頼しています。	取り組みを継続し、多言語による対応や通訳者のより円滑な活用を図ります。	実施できていません。	例年、学童保育所の新年度入所説明会において、要望に応じて通訳を派遣する体制を取っていましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、入所説明会を実施しなかったため。(青少年課)
2-3	34	乳幼児や放課後児童の育成支援	保育課	保育所や学童保育所では、やさしい日本語やローマ字の使用で対応しています。必要に応じて、通訳者も依頼しています。	取り組みを継続し、多言語による対応や通訳者のより円滑な活用を図ります。	実施しています。	保育所入所児童の中に、外国籍のお子さんがいるため、各保育所で、お便り等にローマ字やひらがなで、ふりがなをつけたり、優しい日本語で話したり、状況に合わせた対応をしています。(保育課)
2-3	35	日本で就労するための各種講座の支援	市民協働推進課 AGA	【新規】	外国人市民が日本で継続して就労するために必要な講座を支援します。	実施しています。	ハローワークを通じて案内される、定住外国人向けの就労・定着支援研修を市webサイトに掲載し、周知を図りました。
2-3	36	多文化共生意識の啓発	商工課	【新規】	企業を対象とした研修などの機会に多文化共生意識の啓発を図ります。	実施しています。	市内事業者を対象とし、「企業における人権～職場の人権啓発活動～、公正な採用選考」をテーマに、収録した講演映像を令和4年2月17日(木)～3月16日(水)の期間でYouTubeに公開し、再生回数は97回でした。今後も継続して講演を実施する予定です。

体系No.	通しNo.	事業名	担当課	現在	目標(令和3年度)	進捗状況	R03年度実績内容 (実施していない場合はその理由、また今後の方向性について)
3-1	37	小・中学校での国際理解教育に関する授業の充実	指導課 市民協働推進課	総合的な学習の時間に、外国人市民や海外生活経験者を講師として招き、国際理解教育に関する授業を行っています。	授業を行った学校にアンケートを送付し、外国人ボランティアによる国際理解教育に関する授業を充実させます。	実施できていません。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で中止となりました。 例年各小・中学校では、地域に住む外国人市民(ボランティア)や国際交流団体各小・中学校では、地域に住む外国人市民(ボランティア)や国際交流団体等を活用し、児童生徒が外国人や外国の文化・習慣に慣れ親しむための授業を行っています。そのための講師の紹介及び授業実施報告等は、市民協働推進課で所管しており、今後更に連携を深め、それらの情報を指導課においても掌握し、各学校で実施している取組を、他校へ広めていきます。(指導課) 令和2、3年度はコロナの為実施しておりません。コロナ禍前の令和元年には中学校1校に5名を派遣しました。授業後のアンケートでは生徒の事前学習と講師による活動を中心とした授業で国際理解を深めることができたという回答をいただいています。(市民協働推進課)
3-1	38	多文化共生講座の開催	生涯学習課 AGA	公民館で多文化共生や外国人市民の人権についての講座を開催しています。【人権講座/年1回、参加者58人。文化紹介講座/年1回(3日間)、延べ参加者75人】	講座数内容の充実を図り、効果的にPRします。語学講座サークルなどとの連携を強化します。【人権/文化紹介講座の延べ参加者150人】	実施しています。	多文化共生を知るきっかけとなる講座を各公民館で実施しました。【公民館での多文化共生講座 10講座 延べ参加人数130人】
3-1	39	多文化交流イベントなどの情報発信	市民協働推進課	AGAや他の団体から集めた多文化交流についての情報を提供しています。	HPや広報誌、ハローコーナーニュースなど、さまざまな媒体を活用して効果的に情報を発信します。	実施しています。	HPや広報誌、ハローコーナーニュースで多文化交流イベントの情報を発信しました。
3-1	40	海外ボランティア経験者の活用	市民協働推進課	JICAボランティアの表敬訪問を受け入れています。	現地の様子をHPに掲載したり、国際理解講座に協力を求めたりして、市民の海外への理解を深めます。	実施しています。	JICAの海外ボランティアで活動された方の現地での活動報告をHPに掲載しています。
3-1	41	「あげおヒューマンライツミーティング21」の開催	人権男女共同参画課	「あげおヒューマンライツミーティング21」では、AGAの協力で外国人の人権について理解を深めています。	取り組みを継続するとともに、AGAとの連携を強化し外国人の人権についてさらに理解を深めます。	実施できていません。	令和3年度の「あげおヒューマンライツミーティング21」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、人権講演の動画配信のみとしたため。 令和4年度については開催の方向で検討している。
3-2	42	外国人市民のための勉強会の開催【再掲】	市民協働推進課 AGA	日本の税金・年金制度を扱った講座や就職支援講座を開催しています。【勉強会/年2回、参加者13人】	より多くの外国人市民が参加できるよう、受講者の意見を取り入れ、積極的に社会参加を促します。【勉強会/年5回、参加者50人】		体系No.2-3 通しNo.35 の再掲
3-2	43	地域の行事への参加の促進	市民協働推進課	【新規】	語学ボランティアを派遣し、祭りなどの地域行事に外国人市民も参加できるよう促します。	実施しています。	・平成31年度に始動した通訳翻訳ボランティアは地域の行事にも派遣できる体制をとっています。令和3年度に地域の行事への通訳ボランティアの派遣依頼はありませんでした。
3-2	44	自治会への加入の促進	市民協働推進課 区長会	【新規】	外国人市民の転入時に、自治会加入のチラシを配布し加入を促進します。	実施しています。	自治会加入促進チラシを5言語(英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語)に翻訳し、ウェルカムフォルダーを通じて転入する外国人に配布している他、HPにも掲載しています。

体系 No.	通し No.	事業名	担当課	現在	目標(令和3年度)	進捗状況	R03年度実績内容 (実施していない場合はその理由、また今後の方向性について)
3-2	45	国際理解教育における外国人市民の協力の拡充	指導課	【新規】	学校応援団に外国人市民が参加するなど、国際理解教育の活動の幅を広げていきます。	実施できていません。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点で中止となりました。例年各小・中学校では、地域に住む外国人市民(ボランティア)や国際交流団体等を活用し、児童生徒が外国人市民や外国の文化・習慣に慣れ親しむための授業を行っています。少数ですが、外国人市民の方が、学校応援団に参加しています。学校応援団活動に興味のある外国人市民が地域にいる場合には、学校から積極的に参加を促していきます。
3-2	46	外国人市民を講師とした各種講座の開催	市民協働推進課 生涯学習課 AGA	外国人市民を講師とした人権講座や外国文化の紹介講座を開催しています。【講座数/年2回】	取り組みを継続するとともに、ボランティア登録制度を活用し、より多くの外国人市民の社会参加を促します。【講座数/年4回】	実施しています。	公民館で、外国人市民を講師とした多文化共生に関する講座として、海外の料理を作る講座を実施しました。【1講座 参加人数12人】
3-2	47	行政に対する外国人市民の意見・要望の把握	市民協働推進課	本計画策定時に外国人市民向けアンケートを実施しています。	外国人市民向けアンケート、県外国籍県民県政モニター制度、市民意識調査を活用し、外国人市民の意見を計画に反映させます。	実施しています。	埼玉県アンケートに市内にほんご教室で協力するとともに、その結果や相談事業からの情報をふまえて、AGAや市の取り組みに反映させています。ひきつづき外国人市民が意見を表明しやすい広聴の方法を検討します。
3-2	48	日本文化を紹介する機会の拡充	市民協働推進課 生涯学習課 AGA	「あげおワールドフェア」や公民館では、着付けや習字など日本文化を体験できる機会を設けています。	多くの外国人市民が参加しやすいよう、魅力的な内容を検討し機会の拡充や効果的なPRを図ります。	実施しています。	日本文化を体験できる講座を各公民館で実施しました。【7講座 延べ参加人数202人】 新型コロナウイルスの影響で開催が叶いませんでした。今後も年に一度は日本文化に関するイベント等を企画していきます。(AGA・市民協働推進課)
3-3	49	ALTの活用	指導課	市内小・中学校では、ALTを配置し、外国語活動や外国語(英語)科以外にも音楽・生活・国語科・総合的な学習の時間などを通じて国際理解の教育を推進しています。【ALTを活用した国際理解活動の時間数/1校当たり月平均約90時間(平成23年度)】	ALTの派遣を充実し、外国語や国際理解の教育をさらに推進させ、市内小・中学校各校に1人以上配置します。【ALTを活用した国際理解活動の時間数/1校当たり月平均100時間】	実施しています。	現在、市内小・中学校33校に対して36名のALTを配置し、外国語及び国際理解教育の充実を図っています。各学校にALTが常時配置され、児童・生徒がALTと接する機会を多くすることで、国際感覚を身につけた日本人の育成が図れるものであります。そのため、今後もALTの増員をめざしていくとともに、外国語に係る授業だけでなく、他教科等での授業や教育活動において、ALTを積極的に活用するように学校に指導していきます。【ALTを活用した外国語・国際理解活動等の時間数1校当たり月平均約101時間(令和3年度)】
3-3	50	中学生海外派遣研修の実施	指導課	市内の中学生を海外に派遣し、直接異文化に触れ、国際理解を深めています。帰国後は、体験発表やパネル展を実施しています。	帰国後、派遣生が経験を生かし、多文化共生推進のために活躍できる場を提供するなど、効果的な方法を研究します。	実施できていません。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。
3-3	51	ホームステイ受入事業の充実	市民協働推進課	「県ワンナイトステイ事業」の登録家庭を募集しています。【ワンナイトステイ実施件数/13件】	他のホームステイ事業への参加も視野に入れ、より多くの家庭が体験できるようさまざまな工夫を検討します。【ワンナイトステイ実施件数/18件】	実施しています。	埼玉県から依頼を受け、「県ワンナイトステイ事業」に登録家庭を紹介します。コロナの影響を受け、令和3年度はオンラインで交流会が実施されました。【オンライン交流会実施件数/2件】

体系 No.	通し No.	事業名	担当課	現在	目標(令和3年度)	進捗状況	R03年度実績内容 (実施していない場合はその理由、また今後の方向性について)
3-3	52	「あげおワールドフェア」の充実	AGA 市民協働推進課	毎年多くの市民ボランティアが参加して、日本と外国の文化交流が図られています。	市民活動団体、海外ボランティア経験者、外国人市民らによる座談会を企画するなど、より魅力的なイベントを目指しながら、積極的にPRします。【ボランティア満足度／98%】	実施できていません。	当初は10月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、開催を断念しました。
3-3	53	子ども向け事業の開催	生涯学習課 AGA	AGA主催の子ども向け企画(AGAサロン、あげおワールドフェア)、子どもわくわく体験教室を実施しています。	国際理解や多文化共生を基調とした子ども向けの講座やイベントを充実させ、子どもたち同士の交流を支援します。	実施しています。	公民館で、多文化共生に関する子供向け講座として、海外の料理を作る講座を実施しました。【1講座 参加人数8人】
3-3	54	市内の教育機関との連携	AGA 市民協働推進課	市内の小・中学校や高校、大学、専門学校に対して、国際交流イベントのPRやボランティアの協力を依頼しています。	多文化交流の意識を高めるために、市民向け公開講座やイベントの開催について、学校との協力体制を強化します。	実施しています。	令和3年度は上尾高校で多文化共生の授業を1件実施しました。
3-3	55	海外との交流の推進	市民協働推進課 AGA	中国・杭州市との友好交流開始後、市内の中学生を中国に派遣しています。	海外交流の経験者を活用し、市内の民間交流を積極的に支援します。	実施しています。	オーストラリア・ロッキャーバレー市と友好交流を続けています。令和3年度はクリスマスカードやオーストラリアでの大規模水害へのお見舞いを契機に近況を確認しました。引き続きJICAなど民間交流支援もしていきます。
3-3	56	国際理解教育の指導方法に係る研修の充実	指導課	国際理解教育の指導力向上を目指し、ALTとのチームティーチング(共同授業)や教師を対象とした夏期研修を行っています。【市・市教育研究会共催教員研修／年5回】	研修内容を充実させ、さらなる指導力の向上を目指します。【市・市教育研究会共催教員研修／年5回以上】	実施しています。	ALTの配置については、様々な国の方を配置しています。英語活動、外国語活動、外国語の授業以外でもALTが児童生徒に交流する機会を設けるためには、教員のコミュニケーション能力の向上が必要となり、研修機会を増やしていきます。小学校における巡回研修や夏季休業中等を使い、教員の英語力と指導力の向上のため、ALTを活用した研修会を実施しています。
3-4	57	他の多文化共生推進団体との協働	市民協働推進課 AGA	「彩の国さいたま国際交流・協カネットワーク」に参加して、多文化共生について他の団体との意見・情報交換をしています。	市民活動団体、県・県内の他自治体と積極的に意見・情報を交換し、連携を強化します。	実施しています。	他市の担当者との意見交換、先進的な事例研究を行い、より効果のある事業展開を目指しています。
3-4	58	AGAへの支援	市民協働推進課	市は、AGAに対して、補助金の交付、必要な会場の確保、市広報誌への掲載、活動の紹介などの支援をしています。	取り組みを継続するとともに、幅広い人々の協力が得られるように、引き続きAGAの活動を支援します。	実施しています。	引き続き、補助金交付の他、AGA主催事業の広報・市HP・ハローコーナーニュースへの掲載、必要な会場確保等の支援を行っています。
3-4	59	「あげおワールドフェア」の充実【再掲】	AGA 市民協働推進課	毎年多くの市民ボランティアが参加して、日本と外国の文化交流が図られています。【ボランティア満足度／88%】	市民活動団体、海外ボランティア経験者、外国人市民らによる座談会を企画するなど、より魅力的なイベントを目指しながら、積極的にPRします。【ボランティア満足度／98%】		体系No.3-3 通しNo.52 の再掲

体系No.	通しNo.	事業名	担当課	現在	目標(令和3年度)	進捗状況	R03年度実績内容 (実施していない場合はその理由、また今後の方向性について)
3-4	60	「県多文化共生キーパーソン」の活用	市民協働推進課 民生・児童委員協議会	【新規】	「県多文化共生キーパーソン」を活用し、地域の民生委員と連携を取りながら外国人市民の生活を支援します。	実施しています。	民生委員・児童委員活動においては、外国人を問わず相談等の活動を行っています。 (民生・児童委員協議会) 県多文化共生キーパーソンとして4名の方にご登録いただいているほか、AGAと連携し、外国人市民と行政とのパイプ役として活躍していただいています。(市民協働推進課)
3-4	61	「(仮称)多文化共生推進ボランティア登録制度」の導入	市民協働推進課 社会福祉協議会	【新規】	通訳・翻訳、日本語指導など、多文化共生推進活動を行うボランティアの登録制度をつくり、必要に応じて派遣します。	実施しています。	埼玉県が平成29年度から運用している「埼玉県多文化共生ボランティア登録システム」を上尾市でも活用しています。このシステムに登録してくださる市民を都度募集し、令和3年度は講習会を2回開催するなど啓発を継続しています。この登録システムをもとに平成31年度に市通訳翻訳ボランティアに発展させました。
3-5	62	学校を拠点とした多文化共生社会の推進	指導課	小・中学校では、多文化理解や言語能力の育成をはじめ、国際理解教育を実施しています。	学校を国際理解教育の大切な拠点として新たに位置付け、児童・生徒を核とした多文化共生社会の実現を目指します。	実施しています。	各校では、総合的な学習の時間、学活、道徳、外国語等の授業を通して、国際理解教育の充実を図っています。外国人市民に対する人権教育や国際理解教育等の取組を行っており、それらの取組をホームページ等で地域に情報発信しています。
3-5	63	公民館を拠点とした多文化共生講座や市民活動への支援	生涯学習課	公民館を拠点とした多文化共生・語学講座を実施している他、サークル活動を行う市民団体を支援しています。【公民館での多文化共生・語学講座数/8講座、137人】	公民館を拠点として、多文化共生の意識啓発や国際理解を進める市民活動団体を引き続き支援します。【公民館での多文化共生・語学講座数/12講座、200人】	実施しています。	体系No.3-1、通しNo.38の再掲
3-5	64	スポーツ施設を拠点とした多文化共生意識の啓発	スポーツ振興課	【新規】	市民体育館などのスポーツ施設を拠点として、スポーツを通じた多文化共生意識を高めるイベントや環境を整備します。	実施しています。	トレーニング室利用者を安心・安全に利用していただくため、初心者講習を実施しています。 【令和3年度新規登録者10人】
3-5	65	多文化共生の拠点に関するアンケートの活用	市民協働推進課	【新規】	多文化共生を目的とした場所でイベントや講座後にアンケートを実施し、外国人市民が集いやすい拠点の整備を推進します。	実施できていません。	拠点に関するアンケートは実施しませんでした。イベント参加者に多文化共生に関するアンケートを実施しました。アンケート結果をもとに、より充実した多文化共生イベントを目指します。
3-5	66	多文化共生を推進する拠点の設置	市民協働推進課	AGA事務局を市役所第三別館に設置しています。	「(仮称)多文化共生サロン」やボランティアを統括する場の設置を検討します。	実施しています。	拠点を要する目的・立場が多様化していることに伴い、市民活動支援センターなど多目的の公共施設なども含め柔軟な活動を行っています。
3-5	67	国や県が所有する多文化共生施設の利用の促進	市民協働推進課	【新規】	市域を越えた、多文化共生の拠点となる施設をHPや広報などを通じて紹介していきます。	実施しています。	外国人総合相談センター埼玉のチラシをウェルカムフォルダーを通じて転入する外国人市民に配布している他、ハローコーナー相談日以外の相談窓口として周知しています。国際交流基金日本語国際センターなど市民が利用できる多文化共生の拠点となる施設について、上尾市HPからリンクを貼って周知しています。